

子ども会活動に関するアンケート結果

令和元年(2019年)12月

江戸川区 文化共育部 健全育成課

目次

I アンケート調査の概要	1
1 調査の目的.....	1
2 調査の概要.....	1
II 子ども会について	2
1 子ども会とは.....	2
2 基礎データ.....	2
3 子ども会連合会について.....	3
4 地域と子ども会のしくみ.....	3
5 子ども会支援のしくみ.....	3
III 調査結果	4
1 子ども会の現状.....	4
2 現在の子ども会の活動状況について、感じていること.....	9
3 江戸川区子ども会連合会について.....	19
4 ジュニアリーダー活動について.....	22
5 子ども会についての自由意見.....	26
6 まとめ.....	28

I アンケート調査の概要

1 調査の目的

区内子ども会の現状および育成者の意識を把握し、今後の子ども会活性化に資する方策を見出す基礎資料とするため調査を実施した。

2 調査の概要

(1) 調査対象

江戸川区子ども会連合会 加盟子ども会 62

江戸川区子ども会連合会 未加盟子ども会 35

(2) 調査方法

郵送配付、郵送及び持参による回収

(3) 調査期間

令和元年8月8日(木)から令和元年8月30日(金)

(4) 回収率

江戸川区子ども会連合会 加盟子ども会 56 (回収率: 約 90.3%)

江戸川区子ども会連合会 未加盟子ども会 26 (回収率: 約 74.3%)

(5) 集計結果についての留意点

・次ページ以降に記載している回答比率(すべて百分率%で表示)は、加盟子ども会の場合は回収数56件・未加盟子ども会の場合は回収数26件を分母に回答数を割ったものになります。小数点第二位を四捨五入して表示しています。

※設問1-問3、設問2-問2、設問3-問2はそれぞれ直前の質問での回答を分母として、対象となった回答数を割ったものになります。

・自由記入欄は、設問に応じて主な意見や特徴的な意見を掲載しています。

※加盟：江戸川区子ども会連合会加盟子ども会

※未加盟：江戸川区子ども会連合会未加盟子ども会

Ⅱ 子ども会について

1 子ども会とは

子ども会は地域における子どもたちの社会体験、文化体験、スポーツ・レクリエーション体験、奉仕体験などの場です。地域のたくさんの大人に見守られながら、子どもたちは自主性、協調性、社会性、地域への愛着などを身に付けていきます。また、親にとっては子どもの知らなかった一面を知り、一緒に成長していく場となります。

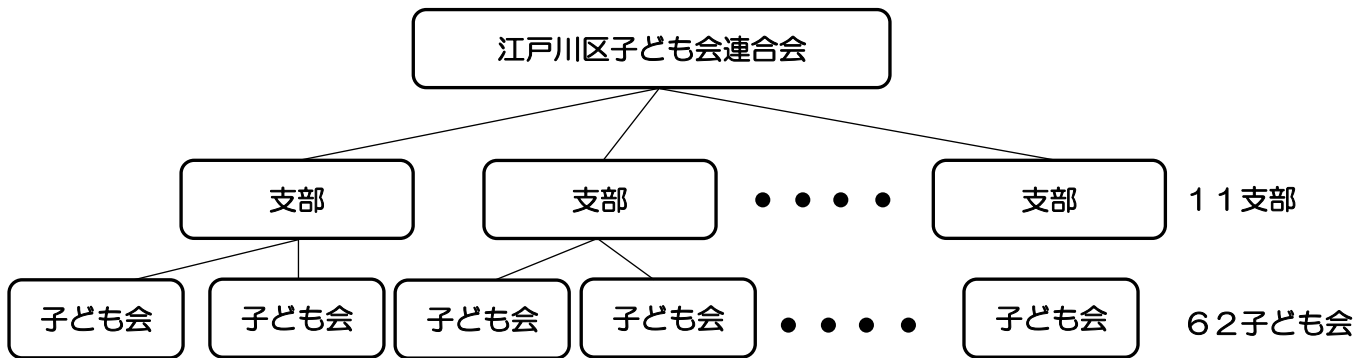
2 基礎データ

	区子連加盟	区子連未加盟	合計
会員数	4,175	1,766	5,941
育成者(高校生以上)	4,319	650	4,969
団体数	62	35	97

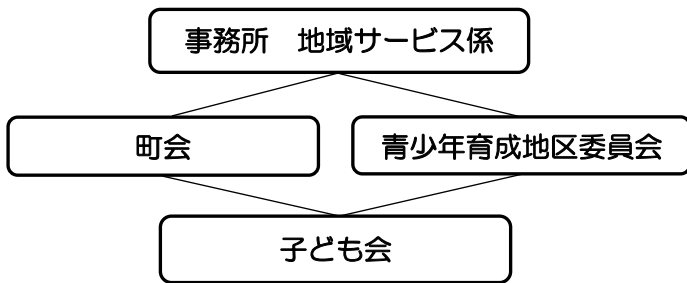


3 子ども会連合会について

昭和 40 年 1 月	江戸川区少年団体連合会結成 25 団体 5,200 人	昭和 48 年	13 支部に
昭和 44 年 5 月	5 支部設立	昭和 54 年	14 支部 268 団体 38,872 人に
昭和 45 年 2 月	100 団体を超える	平成 23 年	江戸川区子ども会連合会に改称
昭和 47 年 7 月	東京都子ども会連合会設立	令和元年	11 支部 97 団体 5,941 人に

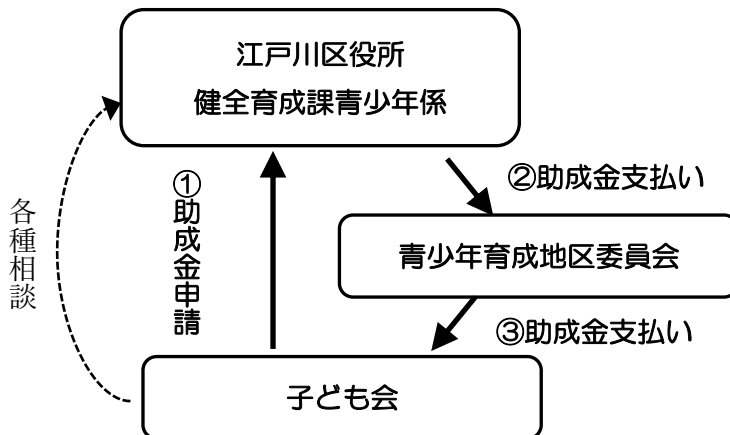


4 地域と子ども会のしくみ



子ども会は活動拠点の町会の組織であると同時に、青少年委員会（17 地区）の会員でもあります。各事務所の地域サービス係が事務局をしています。

5 子ども会支援のしくみ



区役所の子ども会の担当は健全育成課青少年係になります。助成金は青少年育成地区委員会を通じて団体に支払われます。

Ⅲ 調査結果

1 子ども会の現状

問1 あなたの子ども会で特色ある活動や行事はありますか？また、それはどのような内容でしょうか？

【主な回答】

親子公園キャンプ

親子参加でバーベキューとテントでお泊り会。バーベキューで地域の親同士の交流。テント張りは特に男性の保護者で協力し合い、子どもたちは地域の公園で一晩過ごすレア体験ができる。

子ども会夏まつり

町会役員と長寿会の方々を招待して実施。やきそば、フランク、かき氷など。子どもの人数より大人の方が多く、長寿会の方々は毎年楽しみにしている。

神輿、盆踊り、農園体験など

鹿島神社例大祭での神輿渡御。盆踊りでの踊り子参加（事前練習も行う）。夏野菜（枝豆）、冬野菜（小松菜）の種まき～収穫体験。正月お飾り作成（地域農家指導）。

子ども神輿

諏訪神社のお祭りで、他町会の大人神輿と連なり、当町会は子どもたちが神輿を担ぎます。他町会の子どものも参加し、とても賑わいます。

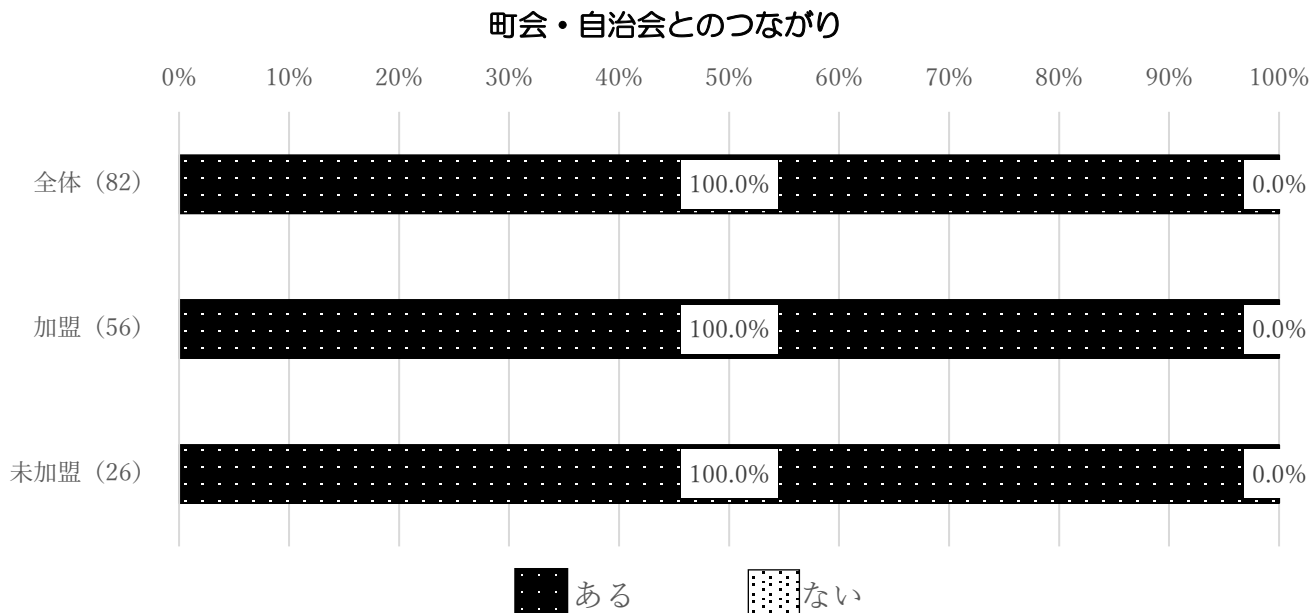
ハロウィンパーティー

300戸ほどの住宅内を、5人ほどのチームになって、クイズに答え、当たりの部屋に行くと、おもちゃやお菓子がもらえる。（たくさんの大人に協力してもらいます）

【コメント】

子ども会活動としての定番は季節のイベント（クリスマス会やお餅つき大会）が多いが、子ども会によっては地域の特色を活かした歴史ある行事や大規模なイベントを行っているところもある。

問2 あなたの子ども会は町会・自治会とつながりがありますか？
 (「つながりがある」とは、「活動経費をもらっている、子ども会の役員が町会の役員・部員を兼任している、町会行事への応援要請がある」等のことをいいます。)



【コメント】

今回回答をもらった全ての子ども会は町会・自治会と何らかの関わりがあると答えており、町会・自治会とつながっているということが江戸川区の子ども会の大きな特徴の1つと言える。

コラム 子ども会活動事例集

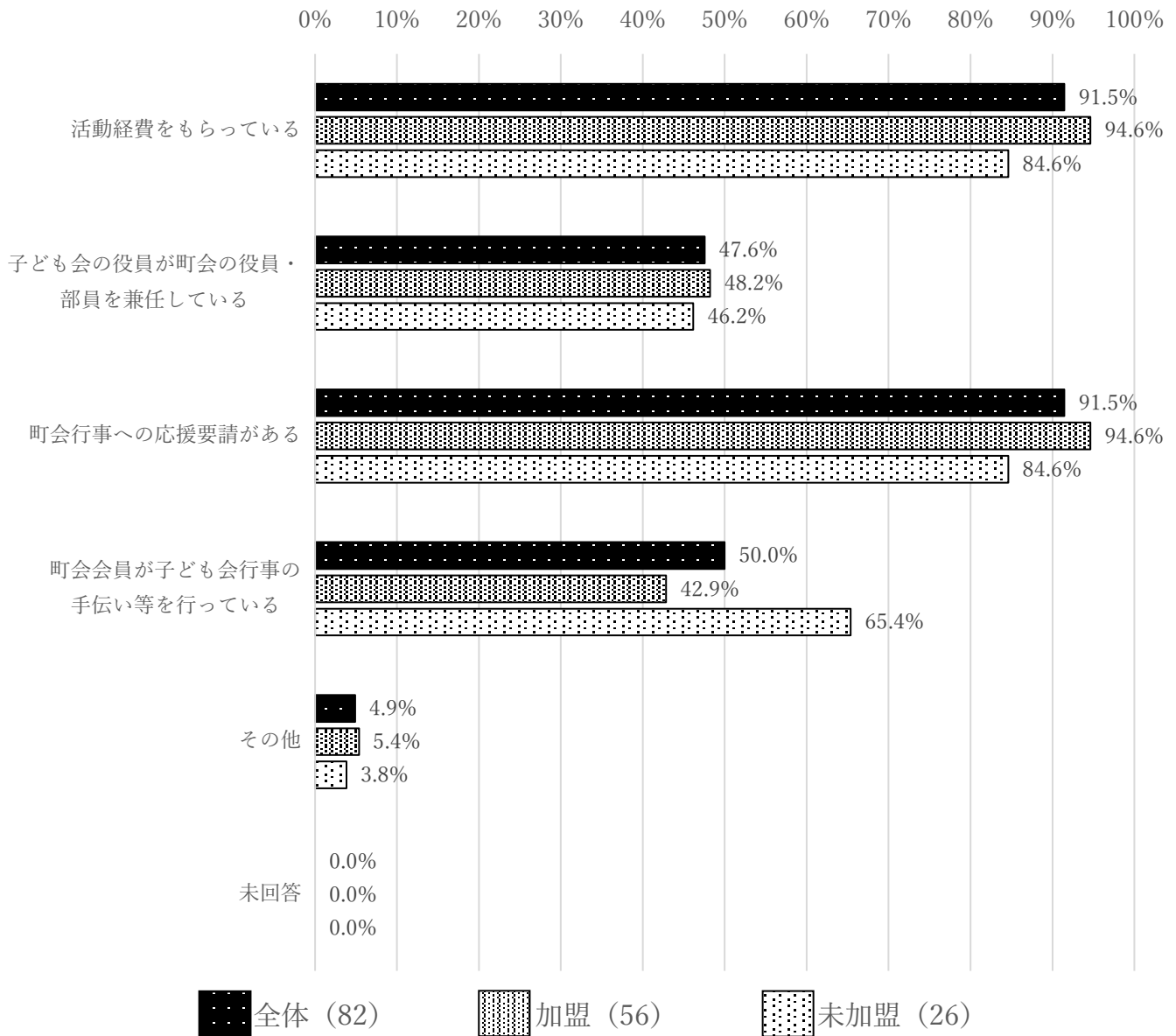
江戸川区青少年委員会が平成12年に作った「子ども会活動事例集 ジャンケンボン」には特徴的な行事16例がまとめられています。また、巻末の資料を見ると、実施している子ども会が多い行事はバスハイク、クリスマス会でした。これは現在も変わりませんが、バスハイクの行先などは時代とともに変わっているのではないのでしょうか。

【特徴的な行事】

ミニ四駆大会	ダンボールハウスキャンプ	学校に泊まろう
三世代交通安全のつどい	16ミリ野外映画会	どじょうつかみ
潮干狩り	肝だめし大会	夏休み工作教室
お誕生会	ハロウィン	季節はずれの肝だめし
おみこし作り	星を見よう会	お正月遊び

問3 問1で「ある」と答えた方に質問します。具体的にどのようなつながりがありますか？（複数回答可）

町会・自治会とのつながりの内容



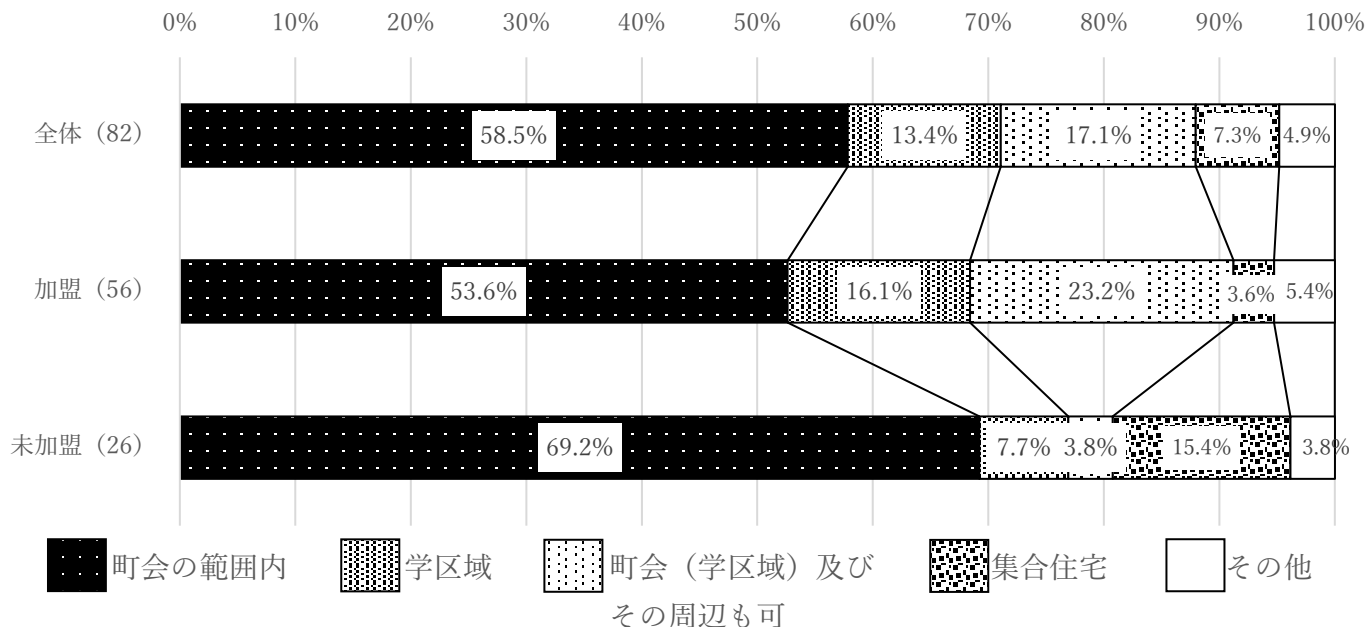
【コメント】

町会・自治会との具体的なつながりとして、「活動経費をもらっている」「町会行事への応援要請がある」が全体で約9割を占める。一方で役員の兼任や町会会員による子ども会活動の手伝いなど、さらに深い町会との関わりがあるのは半数程度にとどまる。

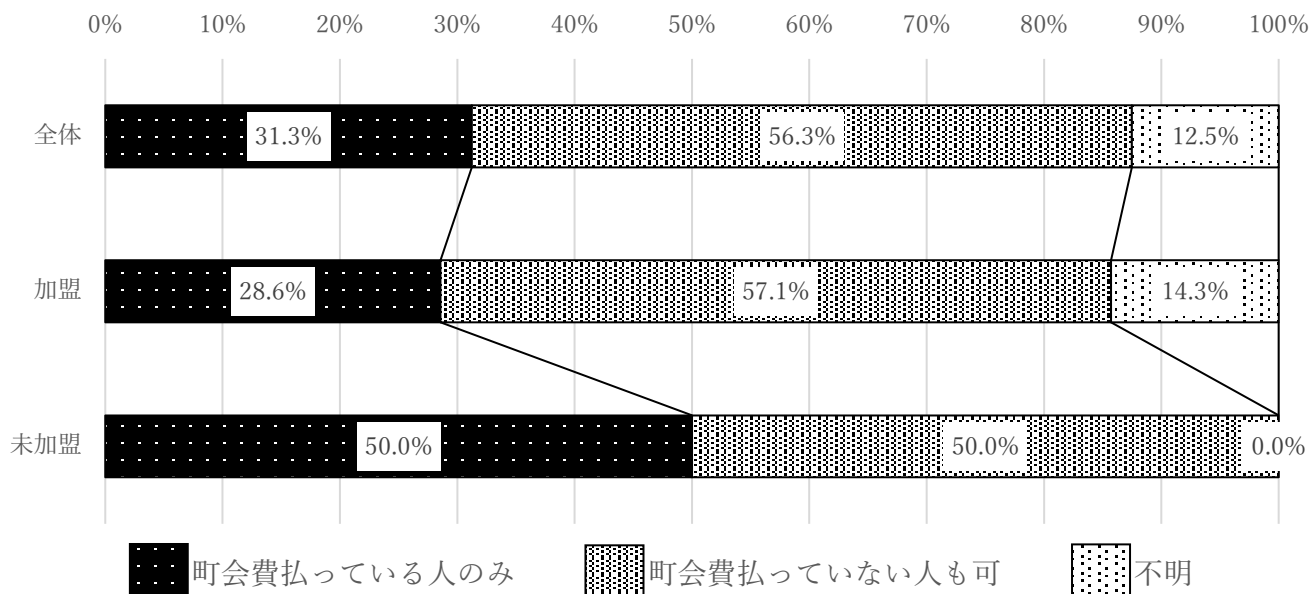
また、子ども会に対する町会行事への応援要請は9割あるのに対し、町会から子ども会への行事手伝いがあるのは半数程度となっている。

問4 会員の範囲は次のうちどちらで規定していますか？

会員の範囲



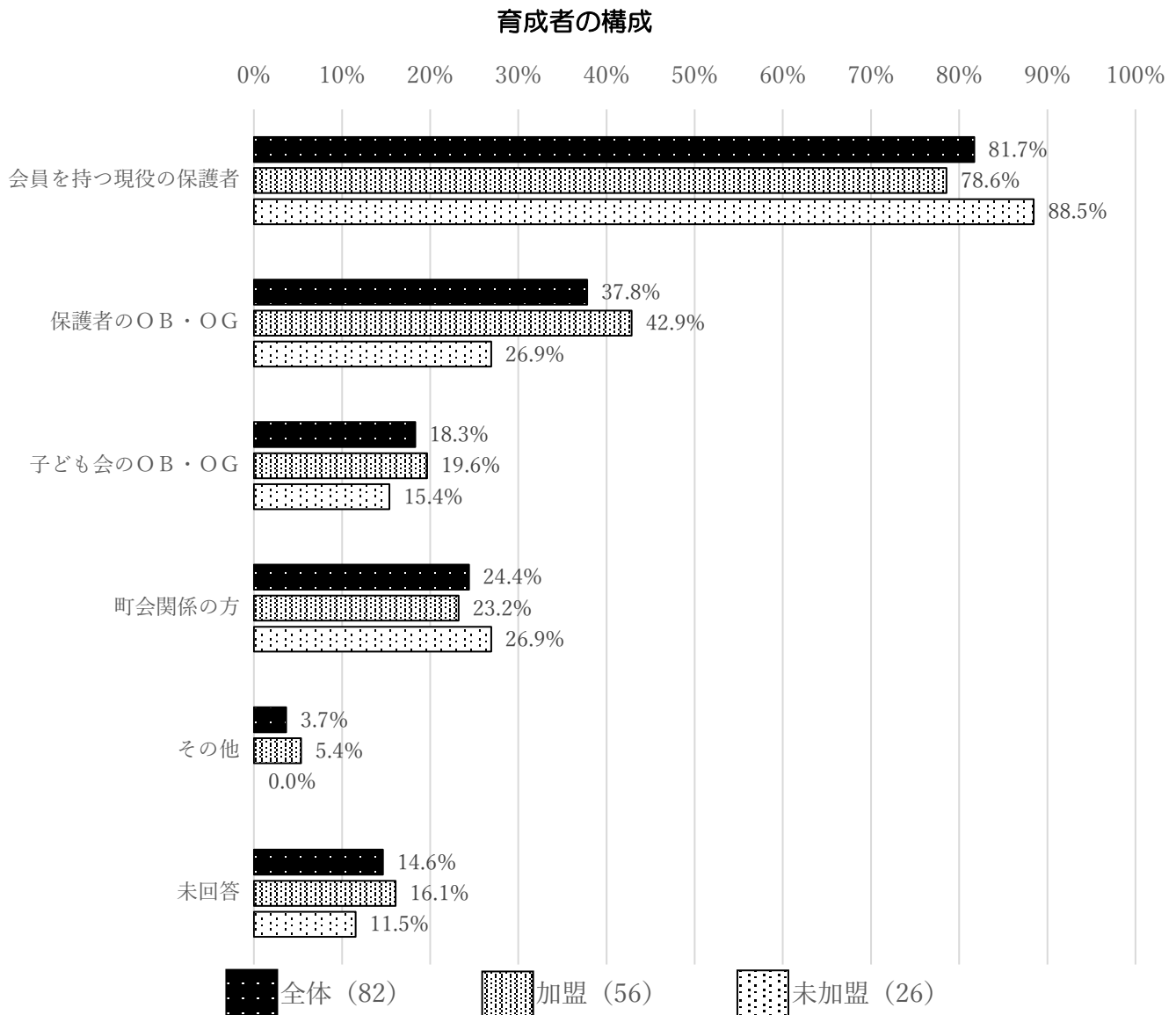
「町会の範囲内」の回答の内訳



【コメント】

加盟子ども会の会員の範囲は、「町会の範囲内またその周辺を可」としているところが多いが、未加盟子ども会は「町会の範囲内」と「集合住宅」が多い。なお、加盟子ども会は1子ども会あたりの会員数が子ども 68.4 人、大人 70.8 人であるのに対し、未加盟子ども会は子ども 48.0 人、大人 18.3 人と比較的規模が小さい。

問5 あなたの子ども会の育成者（大人）は次のうちどちらで構成されていますか？
（複数回答可）

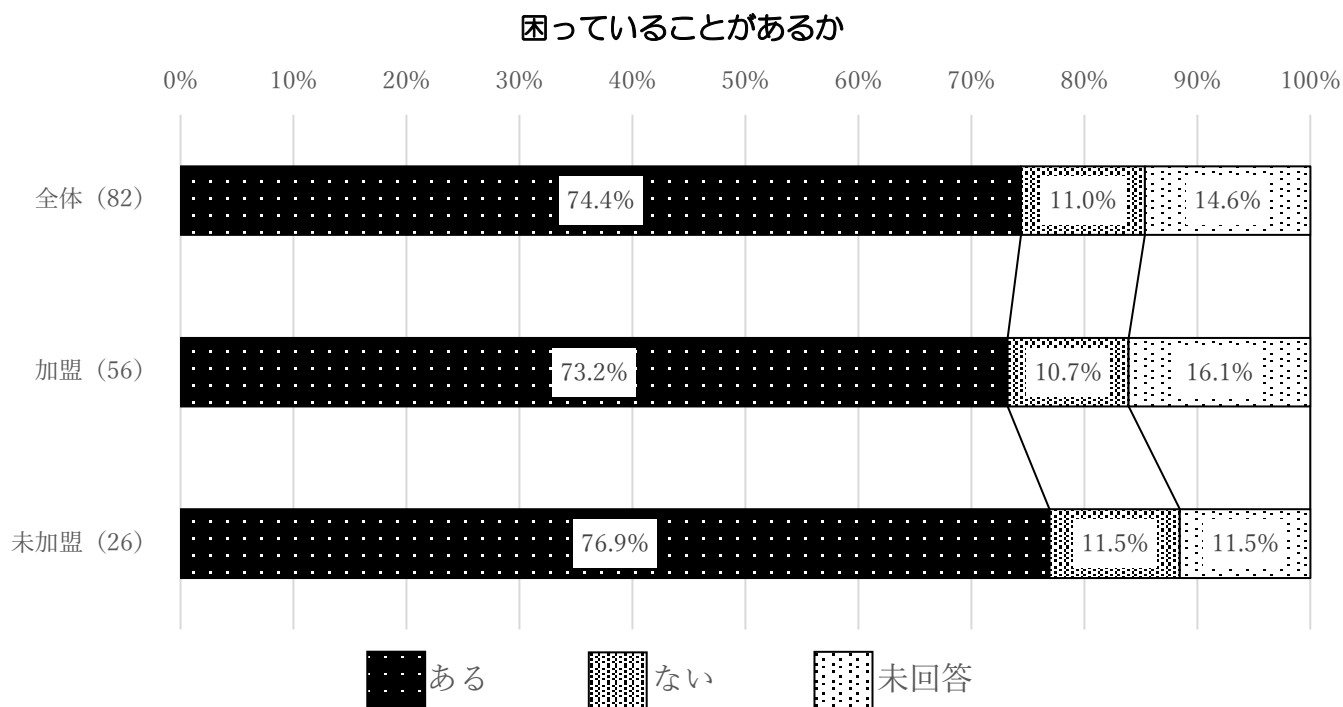


【コメント】

育成者（大人）の構成は、「会員を持つ現役の保護者」が大半を占めている。加盟子ども会では、半数近くの子ども会で、過去に保護者として子ども会活動に参加していたOB・OGが育成者として活動に参加している。

2 現在の子ども会の活動状況について、感じていること

問1 活動を行う上で困りのことがありますか。



【コメント】

加盟・未加盟ともに大差はなく、「困っていることがある」との回答が7割を超える。

行事の工夫① ハロウィン（東葛西第一住宅 あゆみ子ども会）

ハロウィンをちょっと工夫して、地域のお年寄り子どもたちが交流できるような行事にしています。子どもたちは仮装を楽しみながらも、ちょっと緊張してドアのかぼちゃマークを目印にお年寄りのお宅を訪れ、事前にお預けしてあるお菓子を受け取ります。

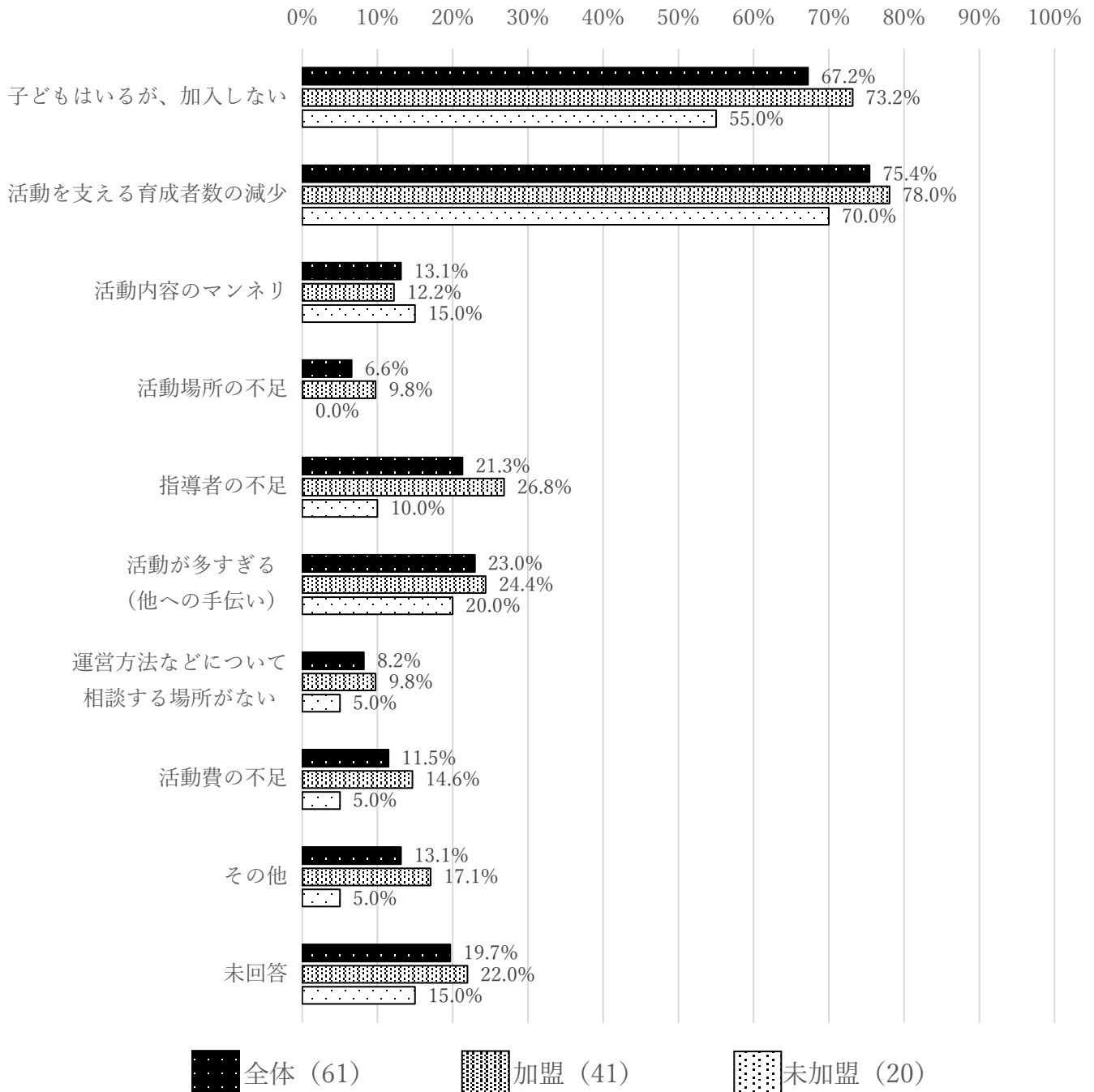
簡単な行事ですが、さまざまな効果が現れています。

子どもの保護者は毎年自分でも楽しみながら凝った衣装を準備していますし、お年寄りは子どもたちの訪問を楽しみにして、お預けした以上のお菓子をくださることもあります。

江戸川区青少年委員会「子ども会活動事例集 ジャンケンポン」平成12年3月

問2 問1で「ある」と答えた方に質問します。困っている具体的な内容をお聞かせください。(複数回答可)

困っている具体的な内容



【コメント】

困っている具体的な内容は、お金や場所、活動内容よりも大人と子どもともに「人が少なく困っている」という意見が圧倒的に多い。次いで回答数が多かった「指導者の不足」「他への手伝いが多い」という意見も、広義には人不足が根本的な原因と言える。

問3 課題を解決するために工夫している取組み等があれば具体的にご記入ください。
(例:「イベントに未加入世帯を招待し、PRする」「役員のみ負担が集中しないように係制を導入して負担を減らしている」など)

【主な回答】

<「子どもが入会しない」ことに対する取組み>

- ・ イベントでの紹介…地域まつりなどに出店して、子ども会をPR
- ・ 子どもの口コミ勧誘…会員の子どもたちが自ら近所のお友達を誘っています
- ・ 未加入世帯を招待…イベントに未加入世帯を招待し、PRしている

<「活動を支える育成者の減少」に対する取組み>

全員参加 (回答数: 18)

- ・ 役員の負担が大きくならないよう、会員に年1回以上のお手伝いをお願いしたところ、行事の参加率も増え、休憩もとれない位忙しい行事も以前はあったが役員一人当たりの負担が減った
- ・ 年終わりに分担表を作って、参加しない親が出ないように工夫している。もしどうしても参加、祭りなどの手伝いができないのであれば、他のやってくれる方を自分で探してもらうなどです。すべて役員の負担にならないように工夫しています
- ・ 昔から4年生の親が役員をやるというルール。当番制で1年だけのことなので、この制度はいいと思うが、今は会員減少とともに役員が少なすぎるので「来年からは3、4年生の保護者が役員、5年生は手伝う」と検討中

町会・OBの協力 (回答数: 8)

- ・ 町会とのかかわりに中間に入る若手の部を作ってもらった。後任の育成が今後の課題
- ・ 子ども会の運営の中心を、町会役員6~7名で実施。子ども会の担当(町会役員)はPTA経験者を中心とする
- ・ 子ども会のOBへ、イベントのお手伝いをお願いし、一人一人の負担がかかりすぎないように調整し、人数を確保している

SNSの活用 (回答数: 5)

- ・ 4~5年前までは各月定例会を開催していましたが、SNSが普及しLINEで書記1人、会計1人、班長3人に連絡事項、参加募集など打ち合わせする。よって、2か月に一度定例会を開催するようになりました
- ・ LINEを使って連絡を行い、なるべく会議を少なくして育成者の負担を減らすようにしている

その他

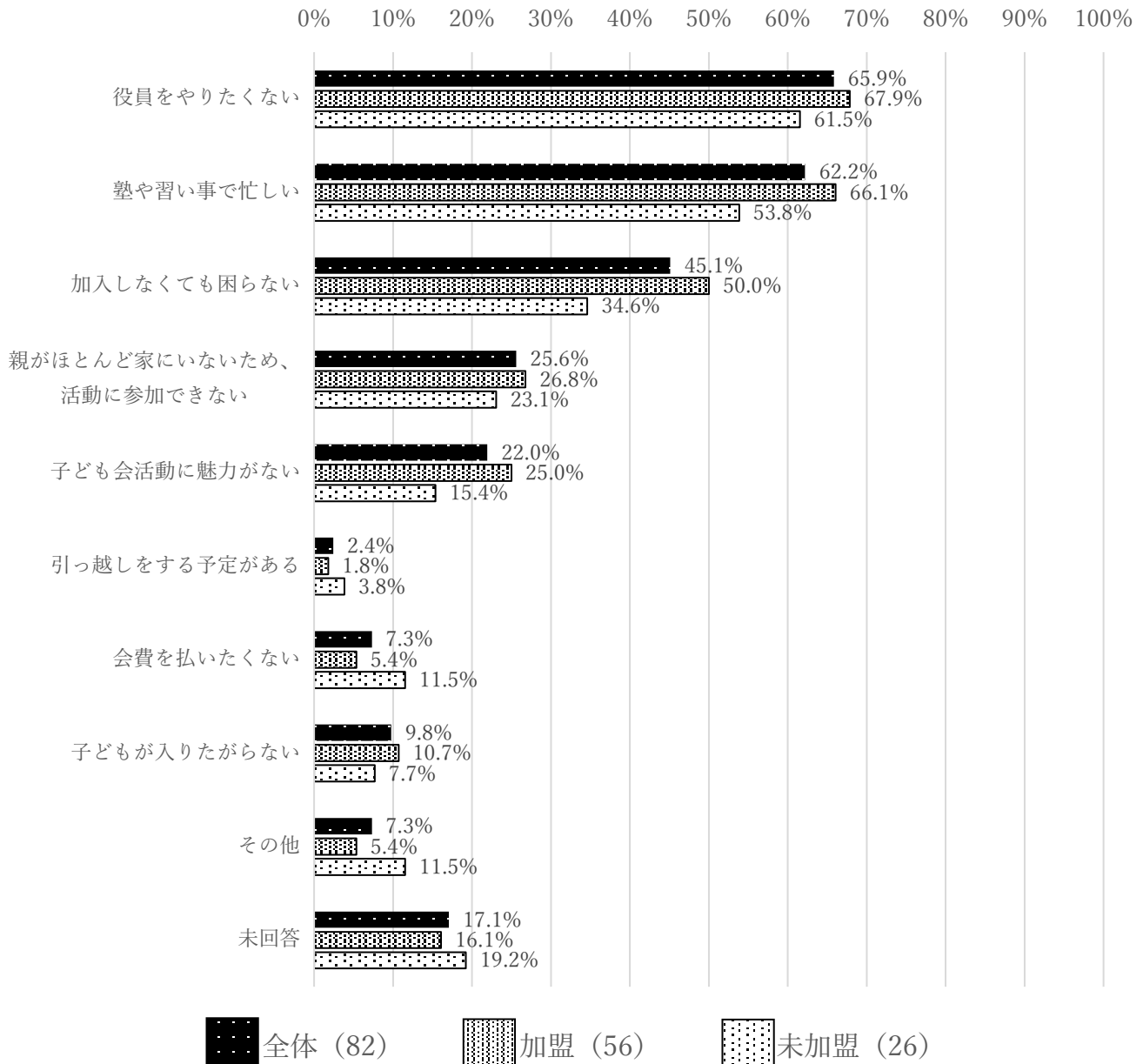
- ・ イベントの変更。役員、班長がお店を運営して、その場に来てもらうお祭り方式から、体験型、親と子どもが同時に参加して楽しむ方式に変更

【コメント】

育成者の減少に対する取組みとしては、負担が偏らないように役割や当番を全員で分担するという内容が多かった。次いで子ども会の中だけではなく、町会やOBへの協力依頼や、SNSを活用して会議の回数を減らす工夫を行っている子ども会もある。

問4 子ども会に加入していない世帯について、把握している理由があればすべてに○をつけてください。(複数回答可)

子ども会に加入していない理由として把握しているもの



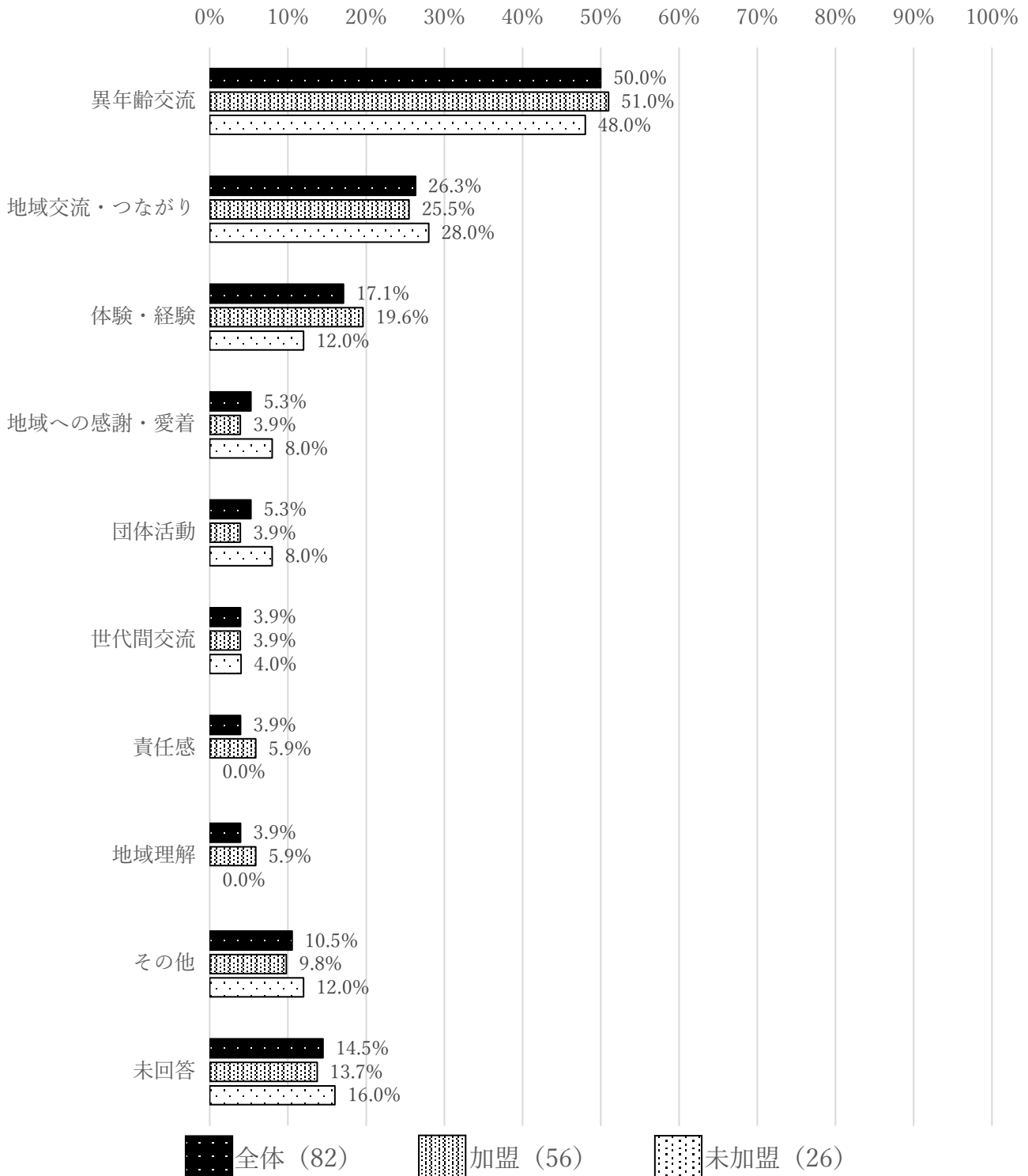
【コメント】

最も多い理由は「親自身が役員をやりたくない」であり、「加入しなくても困らない」、「子ども会活動に魅力がない」という理由も多い。一方で「子どもが入りたがらない」という理由は比較的少ない。このことから、親が子ども会活動の意義や必要性を理解していないため、未加入世帯が多いことが分かる。

また、「会費を払いたくない」という理由は比較的少なく、会費は子ども会によって様々であるが、加入しない直接的な原因ではないことが分かる。

問5 子ども会活動を通じて、子どもたちが学べること（得られること）はどのようなことだと感じますか。また、保護者が学べること（得られること）はどのようなことだと感じますか。

子どもたちが学べること



【主な回答】

異年齢交流

- ・学校で関わらない学年と交流がもてる。そのことで地域内で安心して遊ぶことができる。学校とはまた違う責任を（高学年など）もって、低学年と接することができるようになる。
- ・子ども同士が友だちとなり、学年を越えて遊んでいるのを見るとうれしいです。それが親同士の声かけにもなり、行事の時に声をかけて、一緒に手伝ってもらえるようになっていきます。異年齢で中学生になってからも、下級生（小学生）と仲良く遊んでいる姿が見受けられます。
- ・年齢問わず、子ども会以外のところでも深く関われていると思います。地域の方にもかわいがってもらえて、親としてもうれしいです。
- ・異年齢の子どもたちとのかかわりで活動行事に協力的に助け合う力がつく。特にジュニアリーダーに加入している子どもは積極的な子に育っていると思います。

地域交流・つながり

- ・今の時代では薄くなりつつある地域の方々との関わりを、地域の行事、お祭りや、運動会等で感じることができる貴重な機会だと思います。

体験・経験

- ・企画、準備、運営をすべて子どもリーダーで実施できること。小さな失敗をたくさん経験できること。

世代間交流

- ・カレー作りの時は、町内のおじいちゃんおばあちゃんにも来てもらい、また折り紙で遊んだり、楽しく出会いを作っております。

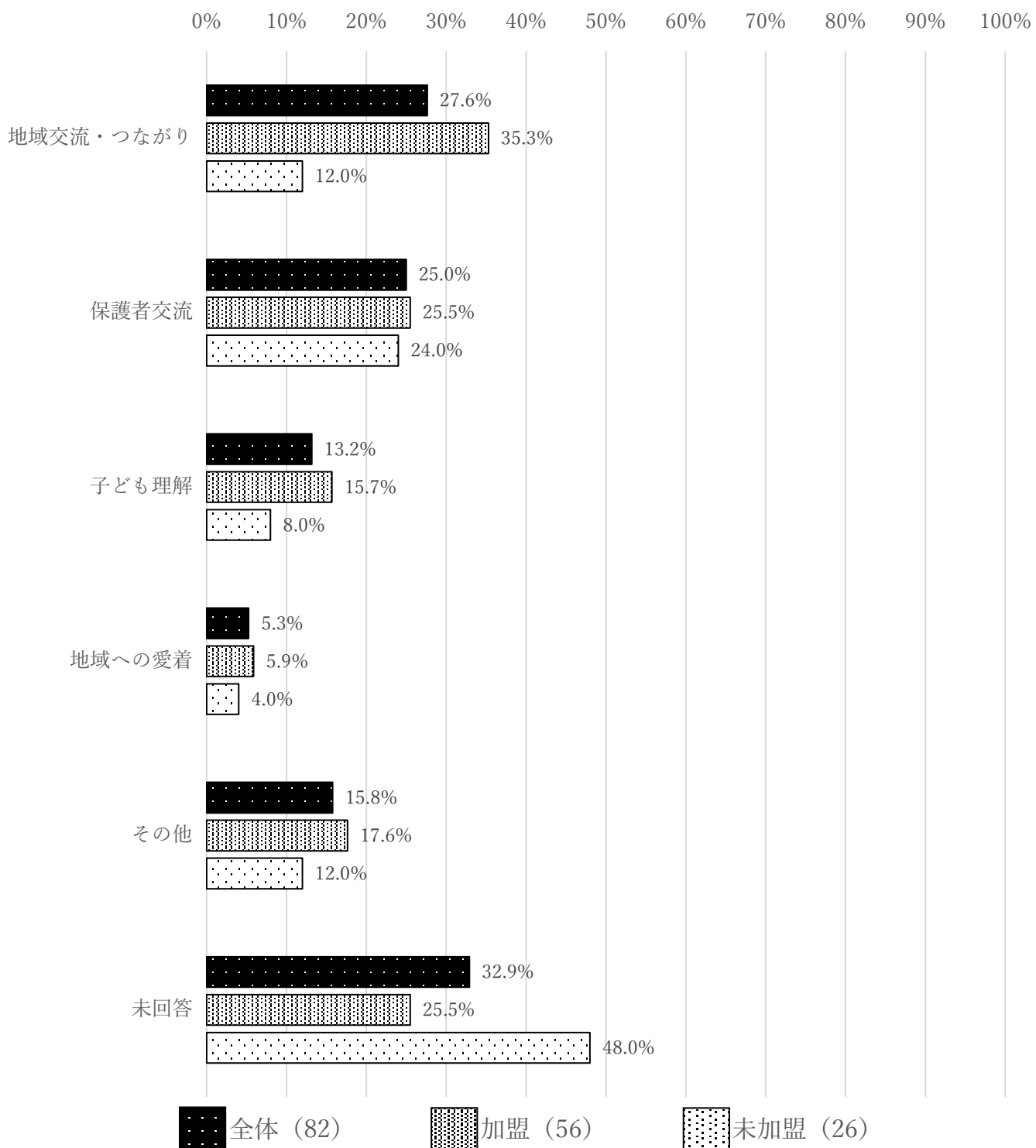
第三の場、地域の交流、異年齢交流

- ・学校でも家庭でもない場で、自由に自分を出して良いことを感じる。仲間と一緒にぶつかったり、考えたり、喜んだりすることの楽しさ、地域の友達との交流、学年をこえたかかわり。育成者も、地域の交流にとっても良いと思います。学校より子どもの姿を身近に感じられる。

【コメント】

子どもたちが学べることとして多かった回答は、子ども会ならではの「異年齢交流」や「地域交流」である。筆記回答だったため、様々な視点から子どもたちの学びについて回答を得ることができた。

保護者が学べること



【主な回答】

地域交流・つながり

- ・実際に役員を引き受けていただいた方は、この地域に知り合いが一人もいなかったのに、子ども会に入ったら家を出るとたくさんの知り合いに日々会えるようになったと言ってくれた。やっているときは大変なこともあったが、とても充実していた。大人になってから文化祭役員になった気がする、と好意的。
- ・年代問わず、近隣とのつながりができると思う。子どもは他学年とも知り合えるし、親も近所に知り合いが増えて住みやすくなると思う。学校外だから体験できることをたくさんさせてあげたい。

保護者交流

- ・保護者同士子どものことなどを相談したり、仲良くなりました。

子ども理解

- ・保護者にとっても、子育ての視野を周りの子どもたちに向けることができ、自分の子どもだけを見るのではなく、大きく周りの子どもと一緒に子育てができる。
- ・保護者同士の交流の場となるとともに、学校・家庭では発見できない子どもの一面を発見することができる。

地域への愛着

- ・地域に知り合いが増える。地元を愛する気持ちを持てる。

その他

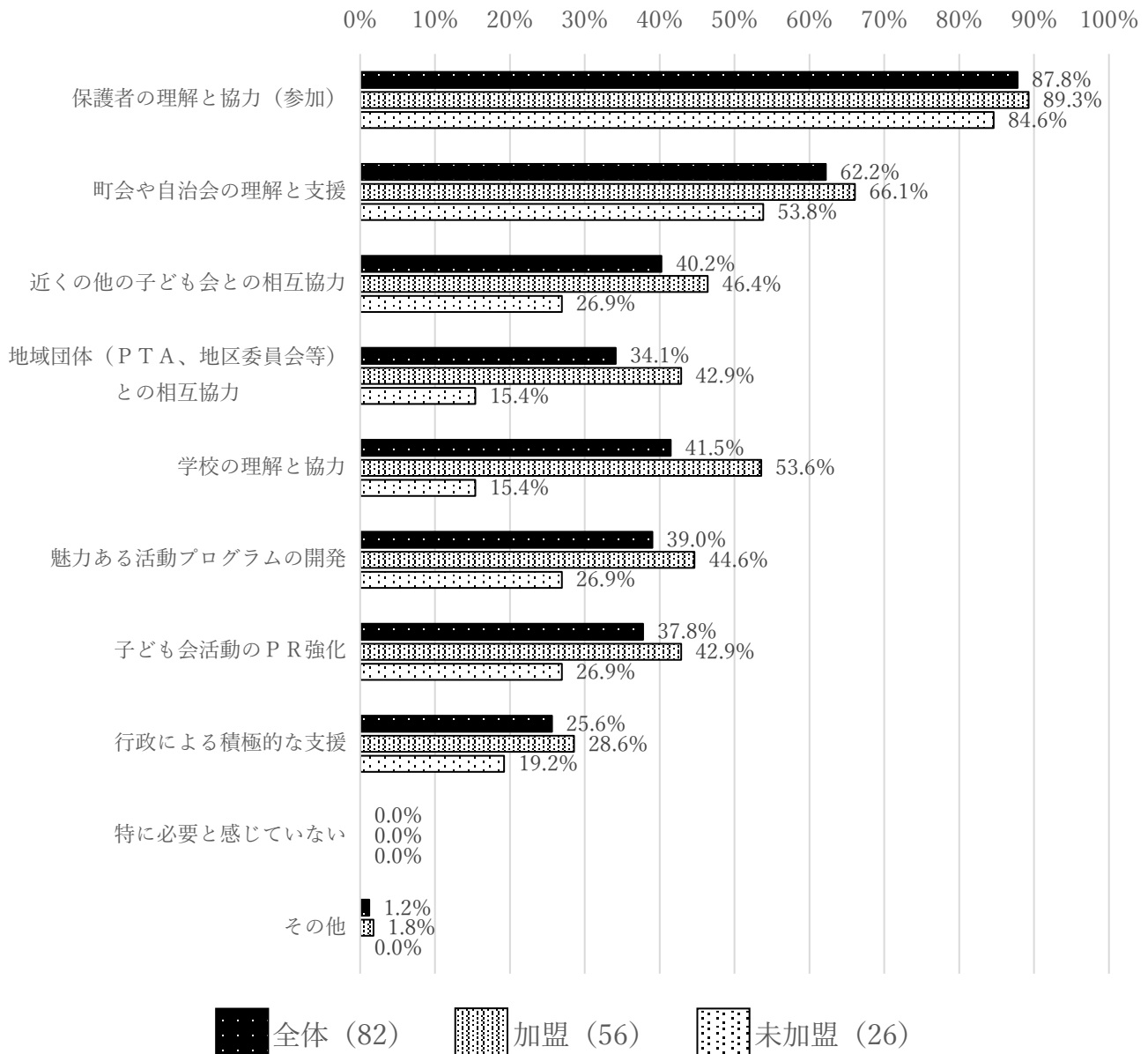
- ・保護者も多くの方々と話ができ見分も広がり、子どもと一緒に活動することにより、親子関係も良好になるのでは。
- ・学校でも家庭でもない場で、自由に自分を出して良いことを感じる。仲間と一緒にぶつかったり、考えたり、喜んだりすることの楽しさ、地域の友達との交流、学年をこえたかわり。育成者も、地域の交流にとっても良いと思います。学校より子どもの姿を身近に感じられる。

【コメント】

保護者が得られることとして多かったのが、「地域交流」や「保護者交流」である。特に「近所に知り合いが増えた」という声が多かった。また、学校や家庭では発見できない新たな子どもの一面を発見することができるという意見もあった。

問6 これからの子ども会活動をより活性化するために、どのような取り組みが必要だと感じますか。(複数回答可)

子ども会活動活性化のために必要だと感じる取組み



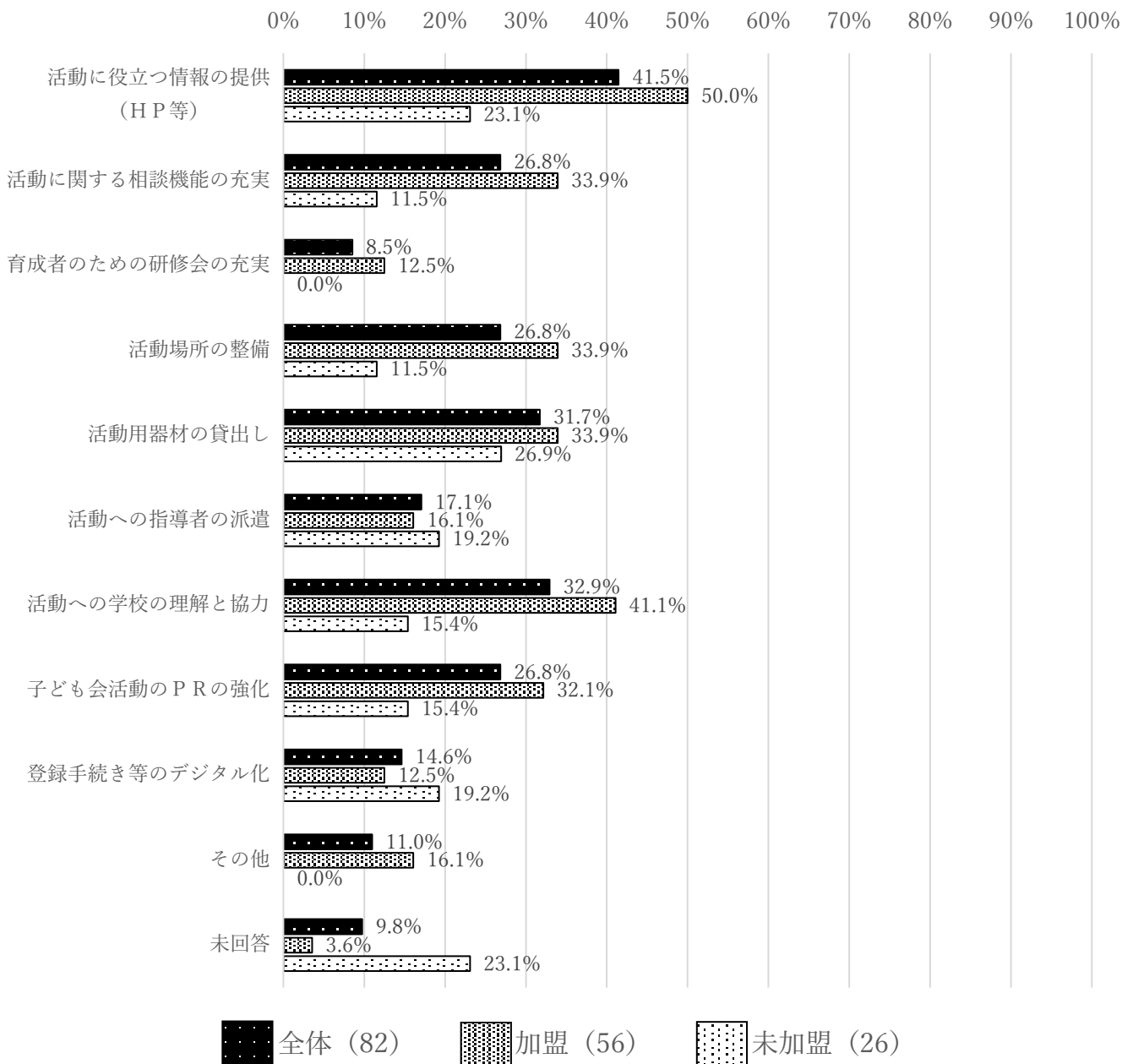
【コメント】

「保護者の理解と協力が必要」という回答が8割を超えている。設問2-問4においても、「保護者自身の子ども会への理解が低い」ことが子ども会に加入しない要因との回答が多かった。このことから、子ども会の加入率が低い要因は保護者であり、今後の活性化には保護者の理解と協力が不可欠と言える。

また、それ以外の意見も回答数が多く、子ども会や地域に応じた様々な取り組みが必要と言える。

問7 子ども会活動を進めていく上で、江戸川区に対するご要望をお聞かせください。
(複数回答可)

区に対する要望



【コメント】

全体で最も回答数が多いのは、「活動に役立つ情報の提供」だが、設問2－問6同様の項目も一定数回答があり、各子ども会や地域に応じて様々な取り組みが必要と言える。

なお、「登録手続きのデジタル化」において、未加盟子ども会の回答割合が加盟子ども会を上回るが、これは未加盟子ども会が区への登録の際、手続上会員全員の名簿の提出が必要のため、負担がかかっていることが要因として考えられる。

3 江戸川区子ども会連合会について

問1 江戸川区子ども会連合会に加盟していますか？

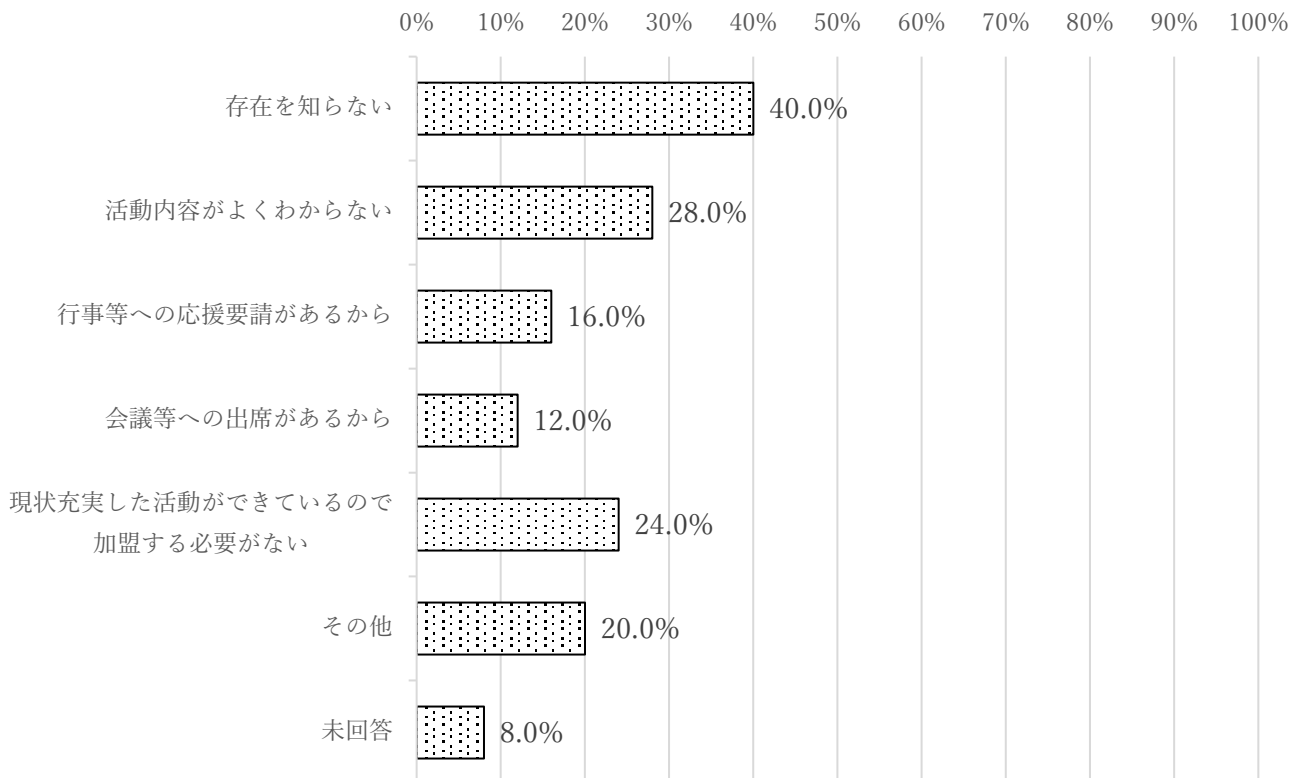
アンケートに回答のあった82子ども会のうち、

- ・加盟している 56子ども会
- ・加盟していない 26子ども会

問2 (未加盟の26子ども会に対して)

加盟していない理由として当てはまるものに○をつけてください。(複数回答可)

(未加盟子ども会に対して) 加盟していない理由



【コメント】

「存在を知らない」、「活動内容がよくわからない」という回答が多いことからわかる通り、未加盟子ども会に対する区子連のPRが十分に行われていない。活性化を図るために、活動やメリットをPRし、加盟を呼びかける必要がある。

問3 江戸川区子ども会連合会では区内 11 支部で行われている行事等の情報交換や、加盟している子ども会の会員を対象にドッチビー大会やゴムボート大会等、大規模なイベントを行っております。今後さらに活動の幅を広げていくために、江戸川区子ども会連合会に対する要望について自由な意見をご記入ください。

【主な回答】

大規模イベントには魅力がある

- ・大きなイベントに参加できることは、子ども会に加入する価値があると思う保護者もいらっしゃるのでは…
- ・ゴムボート試乗会は貴重な体験なので、今後も続けていただきたいです。ドッチビー大会も、子どもたちはスポーツと真剣に向き合うきっかけになってよいと思う。今後も区がイベントを提起していただけるのなら、積極的に参加したいです。自分の子ども会は資金・人員ともに厳しいところに、区からの補助があればと思います。

PRに力を

- ・ドッチビーもボートも、一度体験した子は次回以降も参加してくれる率が高い。いかに初参加者に魅力的に PR できるかで、今後もっと活動が広がるのではないかと。ただし子ども会独自や町会行事の手伝いもあり、これ以上役員の負担が増すような方向になるのは厳しい。

行事の再編を

- ・区子連行事と地区委員会行事が錯綜しており、連携をとって整理する。また、打ち合わせ会議についてもメンバーが重複する場合もあり、整理する必要があると思う。
- ・区子連、地区委員会活動 Plan の連携・共有。統合も視野に入れる。区担当部門、区子連、地区委員会活動の連携

多様な行事を

- ・親子で参加できるイベント、社会科見学のような行事
- ・ドッチビーもゴムボートも、子どもたちが楽しみにしていて、夏休みにもう一つ程なにかイベントがあればいいなと思います。

指導者派遣、工作の指導マニュアルの作成を

- ・支部行事を毎年実施していますが、集団 100 名くらいの子どもに楽しんでもらえるような指導者の派遣をしていただければありがたいです。夏休み中の土曜日です。未来館からの出前も視野に入れていますが、今年も大盛況でした。午後は各子ども会ごとのブースで工作教室でした。工作の内容の指導マニュアル等が欲しいです。

参加する余裕がない

- ・子ども会の規模が小さく、役員が1~2年で交代することが多いため、大規模なイベントに参加する余裕がありません。申し訳ありません。

他支部、他子ども会の情報を

- ・子どもを含めた「親」が興味を持つ活動が重要です。アンケート1-問1の特色ある活動、行事をお知らせください。また、子ども会会員を増やすことが重要です。アンケート2-問3の「子ども会の存在を知ってもらう」「行事内容を知ってもらう」ことより、会員を増やす。各会、どのように募集しているかを知りたい！！"
- ・同じ支部の子ども会育成者は仲良く活動させていただいています。他の支部とのかかわりがないので、どのような活動をおこなっているのか興味があります。
- ・子ども会や支部が持っている情報（景品・備品の購入やユニークな活動など）をネットで共有する仕組みを作ってほしい。また、各子ども会が実施するイベントを紹介する仕組みが欲しい。できればこうした仕組みを区のHP内に設けてほしい。

その他

- ・上記の大規模イベントの際、参加したくても引率や交通問題で参加を断念せざるを得ない時があるので、さわやか体育祭のようにバスを出していただくと子どもたちが参加できるので助かります。
- ・ドッジビー大会に向けて、土曜日午前中に練習をしています。区大会も日曜日から土曜日になるとよいと思います。日曜日は、サッカー、野球をしている子どもたちが多く、参加したくても出れない子どもたちが多くいます。
- ・現役子ども会役員は子ども会の運営で手いっぱい。子ども会役員OBは町会役員になることが多いので、支部や区子連の役員まで手が回らない。区での支援をもっと厚くしてほしい。

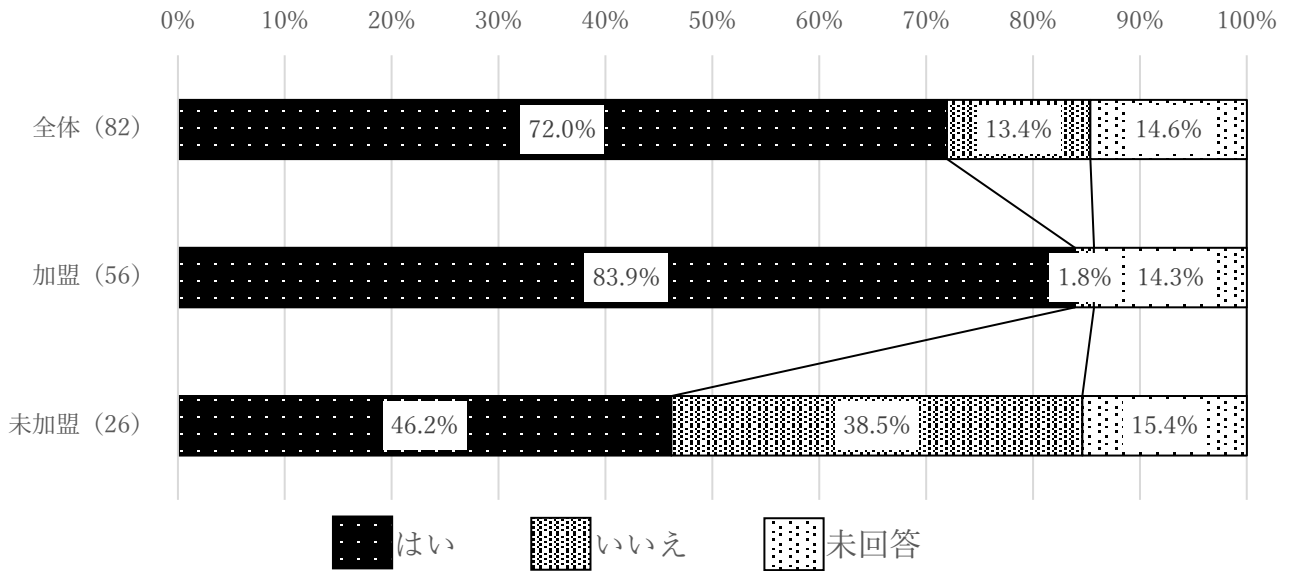
行事の工夫② どじょうつかみ（二南子ども会）

特設プールを使つての水遊びです。団地の敷地内に木材とゴムシートで深さ20センチと30センチの二つのプールを作ります。そこにどじょうとカラーボール、スーパーボールを放ち、子どもたちはそれをつかんで遊びました。持参の水鉄砲で遊んでもOK。最近、生きた魚に触ったことがない子どもたちもたくさんいますが、みんな大騒ぎで楽しいひとときを過ごしました。

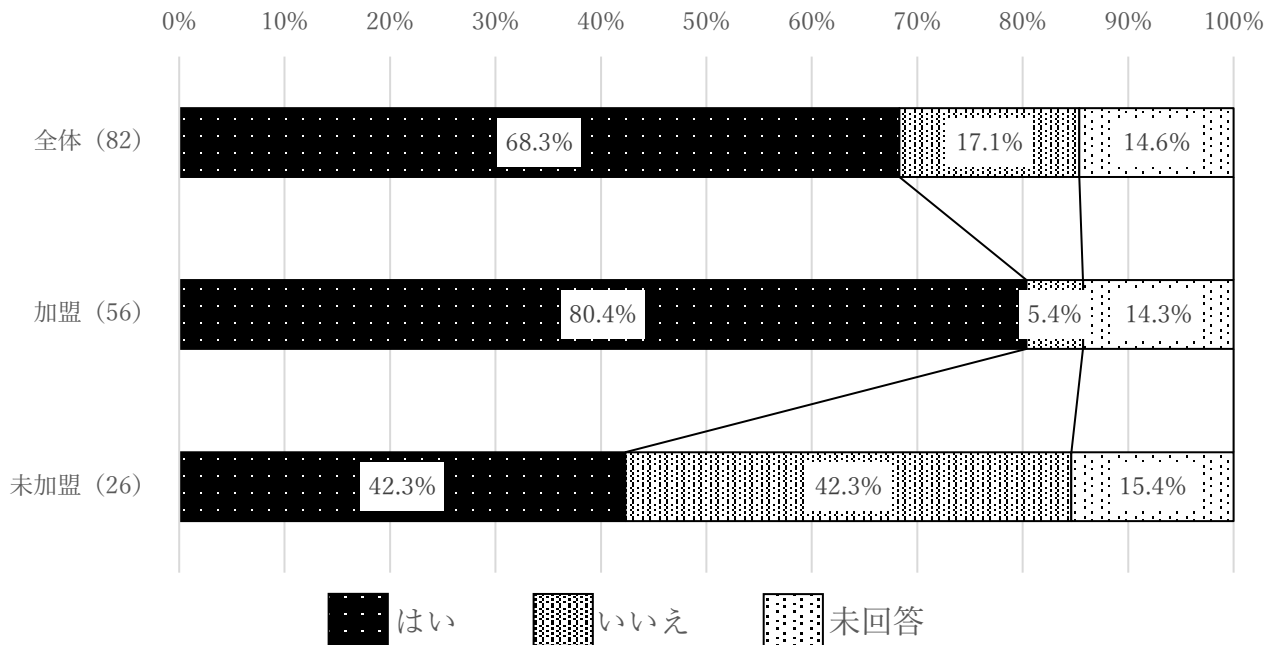
江戸川区青少年委員会「子ども会活動事例集 ジャンケンポン」平成12年3月

4 ジュニアリーダー活動について

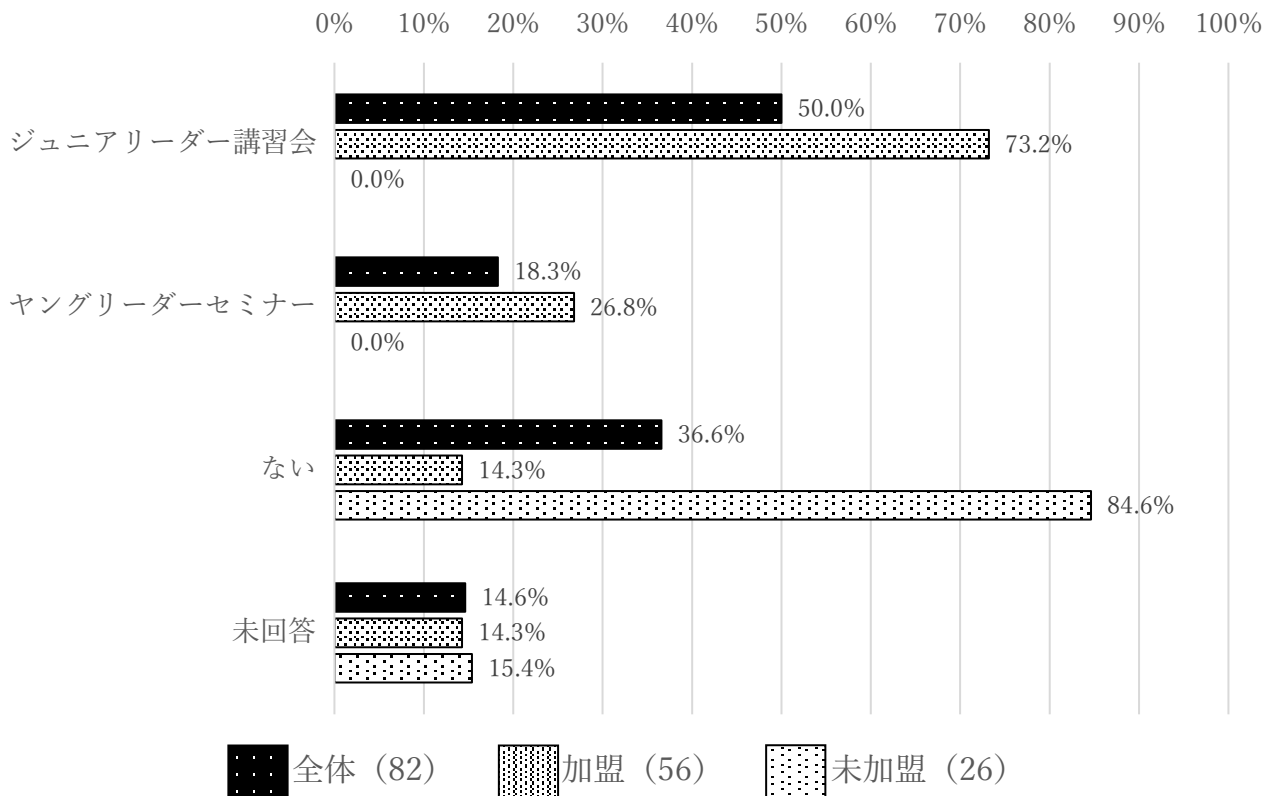
問1 ジュニアリーダー講習会(小学生対象)をご存知ですか。



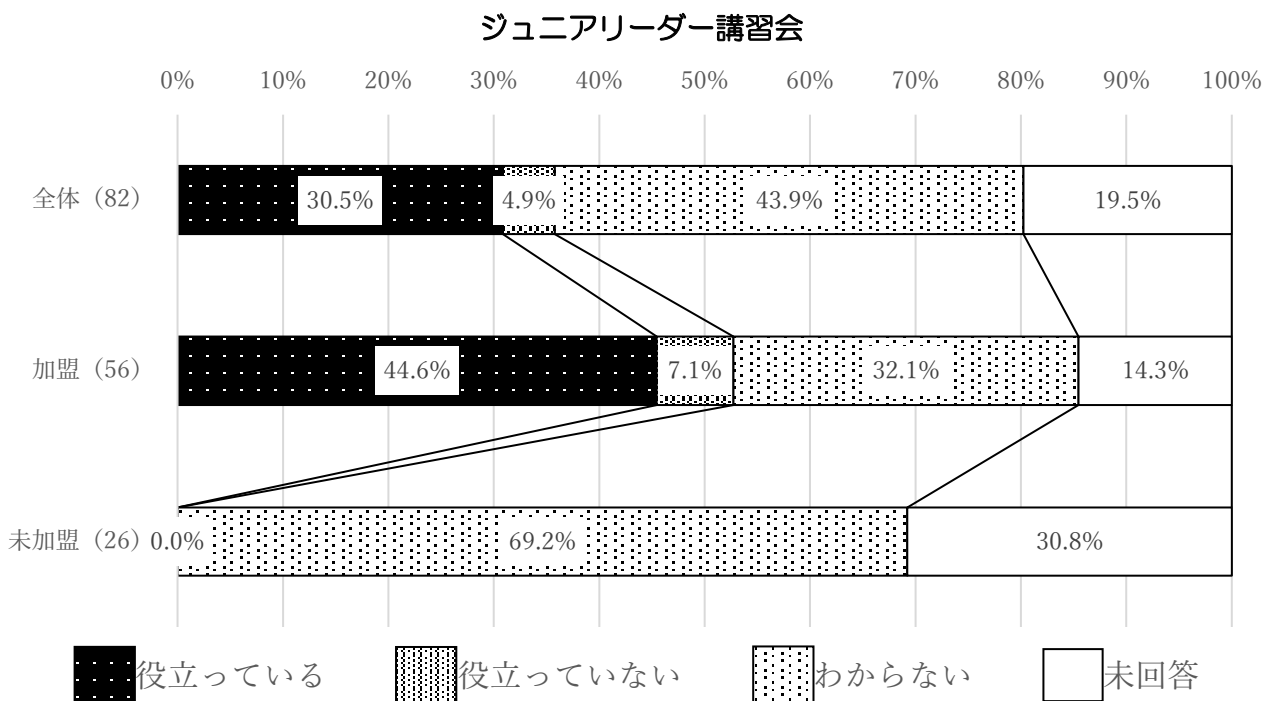
問2 ヤングリーダーセミナー(中学生・高校生対象)をご存知ですか。



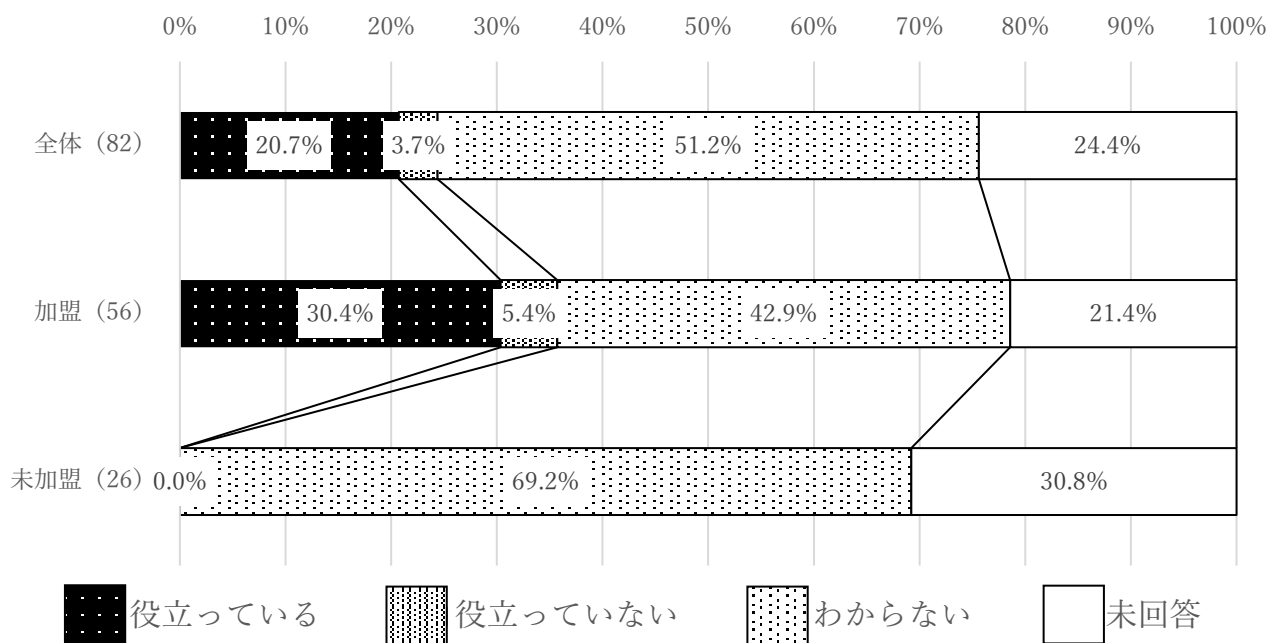
問3 問1～問2の講習会に参加した(会員の子どもを参加させた)ことがありますか。(複数回答可)



問4 問1～問2の講習会が、子ども会の活動に役立っていると感じますか。それぞれについてお答えください。

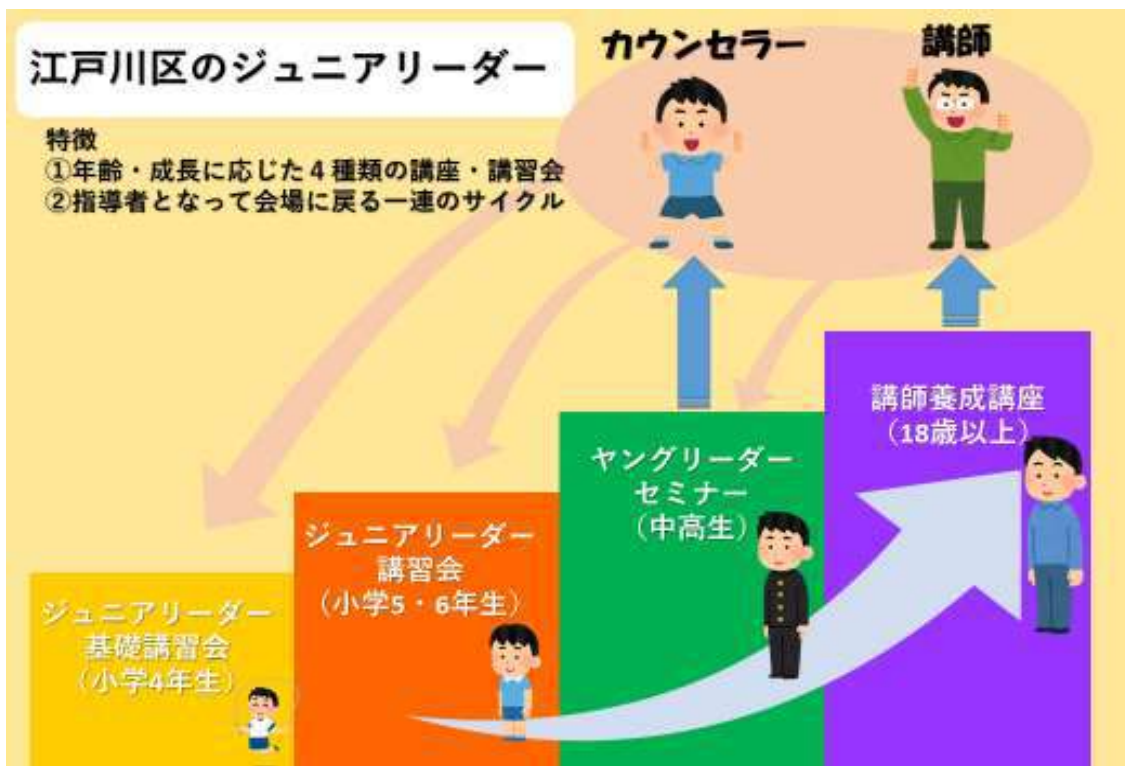


ヤングリーダーセミナー



【コメント】

ジュニアリーダー講習会やヤングリーダーセミナーについて、ほとんどの加盟子ども会には浸透しているが、一部知らないと回答した子ども会もあり、講習会の周知が各子ども会まで行き届いていないことが考えられる。また、未加盟子ども会については支部を通して周知することができないため、講習会の認知割合は半数を切っており、加盟・未加盟を問わず周知強化を図る必要がある。



※ジュニアリーダー講習会、基礎講習会の対象年齢は地域によって異なる場合があります
 ※大人の指導者と子どもたちのパイプ役となる年少指導者を「カウンセラー」と呼んでいます

問5 講習会の内容等についてご意見やご要望がありましたらお聞かせください。

子どもたちは忙しい

- ・ヤングセミナーについては、部活動に忙しい子どもたちには難しいのが残念です。
- ・ジュニアリーダーは毎年参加させていただき、楽しく学んでいます。テントや学校キャンプなども子どもたちにも興味があり、保護者も見学させてもらっています。

ジュニアリーダーを知らない

- ・子どもたちの自主性や協調性を育てるための場としてとても良いと思います。ただ、その内容について知らない、わからないの声が多い気がします。わが子が昔参加していた経験から、彼女の言葉からとても良い活動だと思います。
- ・ジュニアリーダーを知らない人がたくさんいると思うので、PRできる場があれば興味を持ってくれると思います。
- ・講習会に参加した方からは、とてもよかったというお話をよく聞きます。ですが、その後の子ども会でのいかし方や役立て方、活躍をさせてあげられる方法がもっと分かればと思います。講習の内容も参加したことがないのでわからず、おすすめすることができていないのが現状です。

活躍してくれている

- ・ジュニアリーダー講習会を受講した子どもたちは、子ども会行事に勉強してきたゲーム等いろいろ教えてくれている。

時代に合っていないのでは

- ・ジュニアリーダーの育成目標が時代に合っているか疑問。
- ・ジュニアリーダーの活動は必ずしも子ども会とリンクしていない。勧誘のツールの一つとして考え、区で積極的に勧誘してほしい。また、ジュニアリーダーのイベントを区全体で行うとか、気軽に参加し、活動のメリットがわかるようにしたらよいと思います。

【コメント】

「子どもたちは忙しい」の回答の中にもある通り、ヤングリーダーセミナーは中高生が対象となるため、部活動との両立が課題となっている。

また、「ジュニアリーダーを知らない」「内容が分からない」という意見が多く、チラシなどで周知するだけでは、ジュニアリーダー活動とは実際にどのような活動をしているのか、理解しにくいということが分かる。ただ、実際に参加した方からは良い意見もあり、内容がイメージしやすいようなPRが必要であるということが分かる。

5 子ども会についての自由意見

問1 「子ども会」について自由な意見をご記入ください。

役員・育成者に関して

- ・子ども会役員を（特に会長）引き受けてもらえない。学校 PTA 会長の場合は子どもが卒業すれば辞められるが、子ども会会長は次期会長が見つかるまで会長を引き受けなければならず、負担が増す。
- ・子ども会に入らない方もたまにいますが、子どもたちのためにも子ども会に入ってもらいたいと思います。行事等のお手伝いがあり、役員になりたくない方がいらっしゃいますが、見ているだけと中に入ってやってみるとは違うと思うのです。やってみると大変なことはあると思いますが、役員同士のつながりなどができ、やってよかったと思っている方が多いと思います。毛嫌いせず、役員をやっていただきたいと思います。

相談、支援に関して

- ・地域の小学校に通う児童で当該地区に住んでいる児童の大半が加入してくださっているのでとてもありがたいのですが、子ども会費は何十年も前とほぼ変わらない額のため、現状維持が精一杯の現状です。昔子ども会で公園にダンボールハウスを作って泊まったという思い出があるので、今の子どもたちにも非日常的な体験をとら思いますが、どう立案していくか分からないので、相談や補助などサポート機能があつたらいいなと思います。
- ・各子ども会の悩みは共通しているかも。情報交換の場が年2回あれば有効かな。毎年の運営費は「参加費、リサイクル助成金、町会助成金、区助成金」がメインとなります。区からの助成金（現在6万円）では不足で、安定した活動に近づけるには「倍」ほどの区助成金を希望。子ども会活動の「サクセスストーリー」を紹介いただきたい。会員募集の良い例を紹介いただきたい。

工夫して乗り越えました

- ・うちの子ども会は10年前人数が減って存続が危ぶまれましたが、町会と連携し、保護者を町会活動の一部の労働力として、町会は子どもたちの安全を守る交通の見回り等、win-win を構築し、徐々に理解を得て現在100名以上になりました。ただし、会員は低学年が多い分、役員も自分の子の面倒を見ながらとなるので、町会からの支援は不可欠となり、町会に依存しています。町会の行事は多く、手伝いも多いことから区子連との関りが難しく、負担に感じます。
- ・子どもの人数がだんだん減少している小学校ですが、そんな中、子ども会は昨年、大人の役員がそろわないという理由で一時は解散の危機に陥りましたが、子ども会のバスハイクや球技大会を楽しみにしている子どもたちもたくさんいて、アンケートの結果存続を

希望する声も多かったので、何とか頑張って役員をそろえて、保護者全員でサポートする体制で存続しました。役員を決定するのが毎年困難になるとは思いますが、子どもたちのためにできるだけ子ども会を続けていけるようサポートしていきたいです。

やってよかった

- ・私が会長にイヤイヤなった日、私で大丈夫って思ったんですが、会長でも子ども会のお母さんたちがたくさん助けてくれて私も会長でも楽しく活動できました。楽しくできないと、なんにも楽しくできないと思います。たくさん良い体験をさせてもらいました。

【コメント】

様々な意見が寄せられたが、育成者や役員の負担に関することや、区のサポートや、有効な情報発信を望む声が比較的多くみられた。

一方で活動の充実感・達成感から「役員をやってよかった」という意見や、子ども会活動の良い点など、ポジティブな回答も多くみられた。

6 まとめ

江戸川区の子ども会は町会自治会を中心とした地域とかかわりながら、子どもたちの保護者を中心とした育成会に支えられて活動しています。すべての子ども会が町会自治会とかかわりを持っていることは、江戸川区の特徴と言っていいでしょう。

「活動を行う上で困っていること」は7割以上の子ども会が「ある」と答えています。困っている内容として目立つのは「子どもが入会しない」「育成者が減っている」「指導者が不足している」などの人の問題です。また、「子ども会に加入しない理由」として、「役員をやりたくない」「塾や習い事で忙しい」「加入しなくても困らない」「子ども会活動に魅力がない」などが挙がっています。

「子どもが入会しない」ことに対する取り組みとしては「地域まつりなどでのPR」「未加入世帯の行事への招待」など、「育成者の減少」に対する取り組みとしては一人にかかる負担を軽減するための「全員参加制」や「町会自治会や子ども会OBの協力」「SNSを利用して打ち合わせ等を行うことにより会議の回数を減らす」などが挙げられています。

「子ども会活動を通じて学べること」については自由意見をいただきましたが、子ども・保護者ともに異年齢や地域と「交流」することによる学びが挙がっています。そのほかにも、「体験・経験」「地域への感謝・愛着」などのご意見をいただきました。子ども会に関わっている方々は、子ども会は有意義なものだと感じてくださいようです。

また、「江戸川区への要望」や「江戸川区子ども会連合会について」「ジュニアリーダー活動について」もご意見をいただいています。

総じて感じることは「情報の大切さ」です。

保護者や子どもたちに、子ども会活動の意義や楽しさをご理解いただき、加入していただくこと。地域の方々に、「子ども会が地域のつながりを作り、子どもたちや保護者の地域への愛着を養い、地域を支える人材を育てていること」をご理解いただき、ご支援いただくこと。子ども会の育成者の方々に、子ども会の活動事例や運営の工夫等についての情報を共有し、それぞれの活動に活かしていただくこと。

これらに向けた取り組みが重要なのではないのでしょうか。

このアンケート結果については、江戸川区子ども会連合会をはじめとする地域の皆さんと情報共有し、意見交換しながらこれからの子ども会活動の活性化に役立ててまいります。

子ども会に関するアンケート結果

江戸川区文化共育部健全育成課

令和元年 12 月発行

－子ども会に関する相談窓口－

江戸川区文化共育部健全育成課

青少年係 03-5662-1629

社会教育主事 03-5662-8679